

ジメテナミドP・リニュロン粉粒剤 エコトップP細粒剤F	取扱メーカー： 日産，丸和 原体メーカー： BASF，TKI
成分： ジメテナミドP〔酸アミド系〕……………1.0% リニュロン〔尿素系 PRTR・I 種〕……………1.4%	性状： 類白色細粒及び微粒 毒性： 普通物 消除法： ——

【品目特性】……………

- ほとんどの畑地一年生雑草に対し高い効果を示す。
- 土壌の種類や気象条件による効果の変動が小さく，常に安定した効果を発揮する。
- 本剤は土壌吸着性が強く，安定した処理層を土壌表層に形成する。作物のは種後から出芽前の処理で安全に使用できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 発芽後の雑草に対しては効果が劣るので，雑草発生前に時期を失ないように散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 保管中に一部固まる場合もあるので，ほぐしてから使用する。
- 碎土，整地は丁寧に行い，種子が露出しないように覆土はできるだけ丁寧に行い，覆土深を2～3 cm以上とする。
- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣るので，土壌が適度の水分を含んでいる時に使用する。
- 隣接作物に飛散すると薬害を生じるので，飛散しないよう注意して散布する。特に風の強い時の使用はさける。
- 適用作物（だいず）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。



【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	適用地帯	本剤の 使用回数
だいず	一年生雑草	全土壌 (砂土を除く)	は種後出芽前 (雑草発生前)	4～6kg	全面 土壌散布	全域 (北海道を除く)	1 回 ※

※ジメテナミド及びジメテナミドPを含む農薬の総使用回数：1 回

※リニュロンを含む農薬の総使用回数

：2 回以内(全面土壌散布は1 回以内，雑草茎葉兼土壌散布は1 回以内)